

町公共施設の木質化、生ごみ等のリサイクル、遊休農地の活用と農業の活性化について議員9名で視察研修しました。

町公共施設の木質化では、副町長さんからフルオーダーメイド木造校舎についての説明で、町有林の樹齢65〜95年の杉、松4800本を12・5メートルの長さで搬出し、丸太を無垢材のまま活用したり、内装もすべて無垢の板を使っていると伺いました。

我が町の小学校建て替えに使用できる木材があるのだろうか。木の乾燥に時間と場所が必要で、進めるなら、木材選びを始める時期が来ていると思いました。

次に、「有機リサイクルセンター美土里館」を視察しました。家庭から排出される生ごみや畜糞尿、枯葉、もみ殻、間伐材等を発酵させ堆肥を作って販売している素晴らしい施設です。

次の視察地「(株)美土里農園」はICTやAIを採り入れた次世代型施設園芸でした。県外からの地域おこし協力隊など17名が従事し、経営面積は6・2ヘクタール、観光いちご園を軸に、アスパラガス、いちじく、ぶどう等をリサイクルセンター美土里館の堆肥を使用し育てています。昨期の売上は

4700万円を見込んでいます。

さらに、ここで生産した物は、「道の駅もてぎ」へ供給し販売しているそうです。道の駅もてぎでは、自社開発の商品や地元食材を使ったお土産などが並んでおり、平日にもかかわらず大勢の人でにぎわっていました。この道の駅の運営は第3セクター「(株)もてぎプラザ」へ指定管理者制度で運営委託し、茂木町の株の保有率は90%だそうです。

堆肥から農園で作物を作り、道の駅での販売、遊休農地の活用、農園や道の駅での雇用の促進、この町は商人の町だと実感しました。

総務建設常任委員会

副委員長 田島 國利



広域圏

令和4年児玉郡市広域市町村圏組合議会 第4回定例会

令和4年12月23日(金)開催

○令和4年度一般会計補正予算(第3号)

補正額 4,323万1千円

補正後の額 39億7,170万9千円

補正予算の内容は、条例改正に伴う職員の給与、電気料やガソリン等の料金の単価上昇等に伴う増額のほか、債務負担行為の事項、期間及び限度額を定めるものなどです。

○児玉郡市広域市町村圏組合一般職職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告等に準じ、一般職職員の給料及び勤勉手当を改定するものです。

○指定管理者の指定について

斎場の管理及び運営に関し、株式会社サニタリーセンターを指定管理者として、令和5年4月1日から令和10年3月31日まで間、管理等を行わせるものです。

(美里町選出議員 橋場倅男・櫻沢保)